

<年度末を迎えて>

札幌報恩会 事務局長 村田 英男



年度末から新年度を迎える心の準備を整える
時機が来ました。

平成 28 年度も残りわずかとなり、今年度を振り返りましても法人行事等無事終了を迎えることができそうです。これも保護者の皆様をはじめ関係者の皆様の多大なるご支援、ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

一年を振り返ってみますと、行事や活動等を通して多くの方々との出会いや話し合いの場面があり毎年のことではありますが、法人にとって大きな財産となっております。特に保護者の皆様におかれましては、いろいろな場面を通して温かいお言葉をいただいたことは大きな愛情を痛切に実感することができました。

法人の伝統行事のひとつ「運動会」は今年で 62 回目を迎え、隣接の札幌市立上野幌東小学校様のご理解のもとグラウンドをお借りして開催しており、すでに 15 年のお付き合いをさせていただいております。今年度も良い天候に恵まれ楽しい一日を過ごせました。またもう一つの大きな行事「報恩まつり」も 40 回以上を迎え、地域の方々にも参加して頂き、この日も良い天候に恵まれ楽しい一日を過ごせました。この他にも各事業所、各ブロックでたくさんの行事が企画され無事終了致しました。また隣接の町内会の皆様には日頃から散歩等をしていると声をかけていただき、いつも見守っていただいていることを実感しております。今年も秋祭りや防災訓練を開催されたときは、職員も一緒に参加致しました。これからも町内会の皆様との『絆』を大切に、法人の機能が役立つように安心して暮らせる「まちづくり」に協力できればと願っ

今年は業界で大きな事件・事故があり、そのようなときの対応をどうするかということを考えさせられた年でもありました。法人全体で防災訓練を実施、防犯のための取り組みや道具等の購入を致しました。

さて、法人を取り巻く情勢が大きく変わろうとしており、昨年成立した改正社会福祉法がいよいよ 4 月から本格的に施行されます。主な内容は「経営組織のガバナンス」、「事業運営の透明性の向上」、「財務規律の強化」、「地域における公益的な取り組みを実施する責務」、「行政の関与の在り方」などが大きく変更されることになりました。どれを取ってみても説明するだけで何時間もかかる内容です。各施設長が今年度参加した研修の多くはこの紐解きのような感じがしました。そして研修の最後には決まって「ご負担をおかけしますが、この改革により益々各地でご活躍いただきたいと思っています。」と言うのです。対応に悩めば悩むほど怒りと疑問がわいてくるものです。しかしながら、大きな転換期を迎えたことにより、内部組織を見直すいい機会と思い一步一步進みたいと思っております。

大きな波が押し寄せたとは言え、法人をご利用されている方々には日々の生活や行事、買い物の楽しみが話題となっています。保護者の皆様からも安心安全健康を願う気持ちが一番と感じております。

これからは経営管理とサービス管理を同時並行的に取り組みざるを得ない状況ではありますが、法人は今年「創立 99 周年目」に突入いたします。これからも時代の流れに対応でき、法人が継続可能なための「要素」をひとつひとつ積み重ねてまいりたいと思っております。